

## ■展示替えのご案内

## MCギャラリーと分類展示室の再編

平成13年5月、近代美術展示室が閉鎖された後、新たに誕生したのが全部門の収蔵品を展示した、ミュージアム・コレクション・ギャラリー（通称：MCG）です。今年度の生物部門企画展閉幕を契機に、自然史部門と人文系部門をはっきりと棲み分けさせた新たな展示が、今回の自然史・人文系展示室です。

## MCギャラリー(自然史系展示)

自然史部門では、これまでの検討をふまえて展示資料数を増やしました。開館以来24年間にわたり収集した資料等を県民に広く公開するという考え方が展示の根底にあります。

今回の展示再編では、生物部門の展示が大きく変わりました。生物の展示はそれぞれテーマ別に4つのコーナーに分かれています。

「水辺のいきもの」コーナーでは、主に川や湖などの淡水域とその周辺に生活する動植物を約200種展示しています。トンボ類やゲンゴロウ類といった昆虫類をはじめ、カモ類やカワセミなどの鳥類、両生類、魚類、貝類、植物など多くのグループの生物を見ることができ、実物図鑑として活用できます。展示室内には学習机も用意してありますので、ちょっとした調べ物や学習のまとめに便利です。

「深山のいきもの」コーナーでは鳥獣剥製



を中心に42点展示しています。以前から展示していた鳥類標本を更に充実させ、岩手県産のワシタカ類全種と日本産キツツキの全種を展示しています。他館にはない充実したコレクションです。

「早池峰山の自然」コーナーでは、世界的に貴重な早池峰山の植物や動物のほか、特徴的な岩石標本も展示し、生物、地質両面から理解できるように構成しています。

「海のいきもの」コーナーでは、4種のアザラシを新たに展示に加え、その他海鳥など10種類の動物標本を展示しています。

## 分類展示室(人文系展示)

考古・歴史・民俗の各部門で、岩手に特色のあるテーマを取り上げて展示しています。総合展示室では紹介されない、ある特定の時期や地域の資料、当館ならではのまとまったコレクションなどがご覧いただけます。総合展示室の通史的な展示とは異なる観点から、岩手の歴史や文化に対する理解を深めていただける内容です。今後、部分的な展示替えも予定しており、話題性のあるテーマも取り入れていきたいと考えています。

新たに加えられた部分を中心とする各部門の見どころは次のとおりです。

## &lt;考古部門&gt;

今回は、新たに岩手町にある豊岡遺跡から出土した縄文時代晩期の資料を紹介しています。

豊岡遺跡は岩手県を代表する亀ヶ岡文化の遺跡です。赤く塗られた土器、遮光器土偶、岩偶をかたどった土偶、土製の耳飾りなど貴重な資料が数多く出土しています。

## &lt;歴史部門&gt;

従来の展示に加える形で、

新たに明治9年(1876)の明治天皇巡幸を題材とする川口月泉画「明治天皇行幸岩手県順路絵図」(紙本淡彩)を始めとして、岩手の近代に関わる資料を充実させました。また、明治12年「釜石鉱山寮之図」・「釜石官営製鉄所部分図」(ともに複製品)、「橋野高炉絵巻」(模写)も加えました。

## &lt;民俗部門&gt;

今回は次の①～④に新しくコーナーを設け、⑤～⑥には追加展示をしました。

①南部相撲(角土俵資料、昭和初期の写真と記録) ②玩具・道具(花巻人形と竹細工) ③信仰・年中行事(蘇民祭資料・年中行事の写真・オシラサマ) ④当館の屋外にある南部曲屋の縮尺模型、などです。

また従来から人気がある絵暦のコーナーには⑤長松寺版の盲心経(絵心経)とその版木・活母を新たに加えました。

洒落や語呂合わせで、文字や数字の代りに絵・記号で製作された、盲心経・田山暦・盛岡暦を比べ、謎解きに挑戦して下さい。一階のMCGから⑥昔のくらしコーナーが移りました。道具類を精選し、看板やCMグッズなども展示し、授業での利用やお父さんが昔を懐かしむ空間になっています。



花巻市胡四王神社蘇民袋

分類展示室は、特別展開催時に会場となりますのでご了承ください。